

防災 で考える

いつどこで起こるかわからない災害への備え

何から始めたらいいでしょうか。

飲み水やトイレはどうなる？

避難先では何が必要なの？

日ごろの備えはもちろんのこと、自分の住む地域を知ることやボランティア等の社会参加を通じて”顔のみえる関係づくり”をしておくことも防災のひとつと言えます。

自分と家族、自分のまちを守るために大切なことを一緒に考えてみませんか。

日時

令和7年1月29日(水)

14:00~15:30

会場

小野市うるおい交流館エクラ
市民交流ホール

テーマ

避難の後にどう動く？
～地域の人々のつながり～

講師

佛教大学 福祉教育開発センター講師

ごとう ゆきのり

後藤 至功 氏

(プロフィール)

2011年東日本大震災、2016年熊本地震、2018年西日本豪雨災害等の支援活動を経て、現在、能登福祉救援ボランティアネットワーク共同代表。



定員

50名

受講料

無料

参加者に
防災グッズ
プレゼント!

地域の つながり

〈申込期限〉令和7年1月17日(金)

※要約筆記や手話通訳をご希望の方は、事前にお知らせください。

〈お申込み・お問合せ〉小野市社会福祉協議会

(小野市王子町801)

電話 63-2575

メールアドレス:tiiki@ono-shakyo.or.jp